



\*:

## 1 ポートエッセイ

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

\*:

### —国土強靱化に向けての地域計画 第一次モデル団体が策定—

日本列島の強靱化を図る「国土強靱化」がいよいよ具体的に動き出した。第一次モデル団体に選ばれた自治体で年度末に相次いで地域計画が策定されている。新潟市も本州日本海側で唯一第一次モデル団体に選定されたので、先月末に策定を終えた。港湾にも関係が深いことなので新潟市の事例を報告する。

(5年間の計画)

地域計画の期間は5年間で、基本目標は5項目を設定した。まず「人命の保護」であり、「地域社会機能の維持」と「財産及び公共施設の被害最小化」、「迅速な復旧復興」である。そして新潟市の特徴として5点目に「国全体の強靱化への貢献」を据えた。

これは4年前の3・11大震災の際、本市に整備された港湾・空港・鉄道・高速道などのインフラを生かして日本最大級の救援センターとして機能した実績を踏まえたものだ。今後、首都直下や南海トラフ地震など、太平洋側が広範囲に被災することを想定せざるを得ない状況にある中での方角づけた。

(防災・救援首都を目指す)

この基本目標を受けて、地域計画のサブタイトルは「防災・救援首都を目指して」とし、「足元の安心安全の確保」と「救援・代替機能の強化」の2本柱で構成した。

地元で起きる危機事象としては①地震②水害③土砂災害④津波—の4つを想定。具体的取り組みは16項目に整理し、港湾関係は「交通・物流ネットワークの確保」に位置づけた。

「救援・代替機能の強化」面では「広域交通インフラの強化」を最重要施策に挙げ、日本海国土軸・太平洋横断軸の強化などと共に「港湾機能の強化」(コンテナターミナルの拡張や泊地の増深など)と記載した。この他、「エネルギー拠点」「食料拠点」分野でも港湾の機能強化を盛り込んでいる。

(強靱化には港湾整備が不可欠)

今後、この地域計画を基に国と意見交換し、早期の国土強靱化を求めていくが、第一次モデル団体に加えて、第二次モデル団体でも順次、地域計画が策定されていく。この機をとらえて、国土強靱化の上からも港湾整備の必要性を皆さんと一緒に訴えていきたいのでよろしく願いたい。

~~~~~

## 一本格的クルーズ時代に向けて 新潟港もファンクラブを創設

いまや九州をはじめ西日本の港湾には大型客船が毎日のように寄港し、外国人観光客が大挙して街に繰り出し、「爆買い」で地域経済に貢献しているという。東日本や本州日本海側ではやや乗り遅れている地域もあるようだが、新潟港にもクルーズ時代の波がようやく押し寄せようとしている。

半年ほど前から大型客船を保有する船会社幹部が、新潟へ観光資源の視察に訪れてくれるようになった。今年は「飛鳥Ⅱ」や「ぱしふいっくびいなす」など4隻が寄港する予定で、来年以降はさらに増加が見込まれる状況だ。

この動きを踏まえ、新潟市でも遅ればせながらクルーズ船をより多くの方から歓迎迎いただき、訪れる乗客や船員に新潟のもてなしの気持ちを伝えるため、「新潟港クルーズ・ファンクラブ」を創設することにした。クラブへの入会を通してクルーズ船に興味を持ってもらい、港湾ファンになってもらうことを狙った取り組みだ。船内見学会が開催される場合には会員優先枠を設定するなどインセンティブを考えている。

各地に比べれば遅い立ち上げだが、新潟港へのクルーズ船の寄港を増やし、拠点性の向上や経済活性化に結び付けたいと思っている。ファンクラブ会員の最初の出番は7月6日の「にっぽん丸」入港になりそうだ。

大型クルーズ船では何千人もの乗客が短時間で移動するため、受け入れ側も多様なノウハウが必要だ。先行する港湾に学びながら、新潟も官民挙げての態勢づくりを急いでいる。

日本を訪れる外国人観光客が急増し、首都圏や関西圏ではさまざまな機能がパンクし始めているという。2020年の東京五輪・パラリンピックを見据え、全国で外国人を受け入れる日本づくりへ、まずクルーズ船の寄港をより多くの港で実現したい。

\*\*\*\*\*

## 2 トピック

\*\*\*\*\*

### ● 蕪島に「蕪島休憩所」オープン

(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)

三陸復興国立公園やみちのく潮風トレイルの起点となる蕪島に「蕪島休憩所」がオープンしました。三陸につながる「北の玄関口」として八戸市が整備しました。休憩所内ではくつろぎながらウミネコを観察することができます。自然との調和を重視した場となっており、来年4月までに天然芝の築山で覆う予定です。八戸市は2016年度にかけ、蕪島一帯に道路や公園等の建設を予定しています。



(テープカットでオープンを祝う関係者)



(蕪島に関する展示スペースや展望スペースを設けている)



## ●やまがた女みなとフォーラム「米沢に酒田港がやってくる！」開催

(NPO 法人酒田港女みなと会議)

NPO 法人酒田港女みなと会議は、『港の元気は巷の元気』をキャッチフレーズに、山形県内に住む女性達の新しい視点・感性で酒田港のあり方を考えている団体です。3月13日（金）、米沢市伝国の杜で、当会主催の『やまがた女みなとフォーラム「米沢に酒田港がやってくる！」』を開催致しました。

酒田港はその昔、北前船西回り航路で栄えた港で、山形県下を流れる最上川の舟運で米沢市とは深い結びつきがありました。しかし、物流が鉄道や道路の陸路に変わると、次第に関係が薄くなり、米沢の位置からは新潟港や横浜港へ顔が向けられるようになりました。

内陸の方々に「もう一度酒田港を認識して貰いたい」「物流だけでなく最近の酒田港ではこんな楽しい親水空間が待っていることを知って貰いたい」との思いが、本フォーラムを企画した背景にあります。

会場には酒田から持ち込んだ子獅子・孫獅子や大漁旗を設置し、また雛祭りに合わせて日本三大つるし飾りの一つ「傘福」を飾るなど、湊町酒田の雰囲気や港の賑わいが伝わるように工夫しました。嬉しいことに、会場は大半が女性の参加者でいっぱいになり、酒田港への興味・関心があることが伺えました。

フォーラムは、国土交通省酒田港湾事務所長の「未来に繋がる酒田港」をテーマにした講演の後、



(当会会員でもある NPO 法人元気王国理事長の発表)

リレートークが行われ、参加者は熱心に聞き入っていました。

<リレートークの内容>

- ・「酒田港の役割」山形県港湾事務所長
- ・「酒田港での楽しい催し」NPO 法人元気王国
- ・「酒田の街の見どころ美味しい所」  
みなとまちづくりマイスター西村氏
- ・ 来年開催される「全国豊かな海づくり大会」のお知らせ

女性の企画が男性と違う所は、美味しい物と楽しい物を準備していることです。水産物の試食やお楽しみ抽選会を行い、最後には思わぬお宝（左下写真の兎のお雛様）が当たるなど、会場は大いに盛り上がりました。

今回、来場された方々は港をとて身近に感じてくださったようで、酒田港を訪れるきっかけになるものと期待しております。会場のお手伝いをして下さった方々、お友達を誘い駆けつけて下さった方々、本当にありがとうございました。



当会の活動内容の掲示や兎のお雛様を展示



子獅子も約170kmを移動し、会場へ

●横浜港南本牧ふ頭MC-3 コンテナターミナル 完成・供用式典開催

(関東地方整備局 港湾空港部 総務室)

平成27年4月16日(木)、「横浜港南本牧ふ頭MC-3 コンテナターミナル完成・供用式典」を同ターミナル内において、関東地方整備局、横浜市、横浜港埠頭株式会社の共催により開催されました。

当日は天候にも恵まれ、鈴木国土交通大臣政務官を始め、地元選出国會議員、横浜市議員、港湾関係者等、約110名が出席をされました。

式典は、越智関東地方整備局長の式辞で始まり、鈴木国土交通大臣政務官からご挨拶、来賓として出席いただいた星野衆議院議員と佐藤横浜市会議長から祝辞、牧島衆議院議員から祝電を頂きました。

その後、今井京浜港湾事務所長から事業経過報告を行い、最後に鈴木国土交通大臣政務官、林横浜市長他9名によるテープカットが行われました。

【完成・供用式典概要】

日時：平成27年4月16日(木) 11:00~11:45

場所：横浜港南本牧ふ頭 MC3 コンテナターミナル特設会場

参加者：約110名

次第：

- ①式辞(越智局長、林市長、高島社長)
- ②挨拶(鈴木国土交通大臣政務官)
- ③来賓祝辞(星野衆議院議員、佐藤横浜市会議長)
- ④来賓紹介
- ⑤事業経過報告(今井京浜港湾事務所長)
- ⑥祝電披露
- ⑦テープカット



(テープカット)



(鈴木国土交通大臣政務官)



(星野衆議院議員)



(越智関東地方整備局長)

● 沖縄国際物流セミナー開催 ～沖縄と世界をつなぐ海と空の物流戦略のこれから～

(沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課)

平成27年4月28日(火)、沖縄国際物流戦略チーム(事務局:沖縄県商工会議所連合会・沖縄総合事務局開発建設部)主催による「沖縄国際物流セミナー」を開催しました。

セミナーでは、沖縄の国際物流の将来の展望を考えることを目的に、那覇港や那覇空港における国際物流の取り組みや課題について、ご講演を頂きました。

講演では、那覇港に国際コンテナ航路を運航するアメリカン・プレジデント・ラインズ(APL)社の北東アジアオペレーションヘッドの久保功氏は、「国際コンテナ貨物の現在と将来」として、那覇港の課題や可能性を説明し、大型船に対応できる港湾施設の必要性などを述べました。また、ANA Cargo沖縄統括室長の高濱剛司氏は、「沖縄の未来に向けて～沖縄貨物ハブ～」として、那覇空港における国際航空貨物の取り組みや沖縄の優位性について説明しました。沖縄内航海運組合理事長の山城博美氏は、「国際RORO航路を活用した海外物流の展開」として、沖縄の国際航路の展開について紹介しました。

セミナーには、約230名の方々が参加され、沖縄における国際物流に対する関心の高さがうかがえました。

「沖縄国際物流セミナー」の資料は、以下のホームページで公開しています。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/minato/013104.html>

【沖縄国際物流セミナー概要】

日 時:平成27年4月28日(火)13:30~15:30

会 場:沖縄県立博物館・美術館 講堂

参 加 者:約230名

プログラム:

1. 開会挨拶 沖縄県商工会議所連合会 会長 國場 幸一

2. 国際物流についての行政報告

国土交通省大臣官房審議官 松原 裕

3. 講演

講演①「国際コンテナ貨物の現在と将来」

APL(アメリカン プレジデント ラインズ リミテッド)  
ヘッド オブ オペレーションズ 北東アジア地域  
久保 功 氏

講演②「沖縄の未来に向けて～沖縄貨物ハブ～」

(株)ANA Cargo 沖縄統括室 室長  
高濱 剛司 氏

講演③「国際RORO航路を活用した海外物流の展開」

沖縄地方内航海運組合 理事長 山城 博美 氏

4. 閉会挨拶 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部長

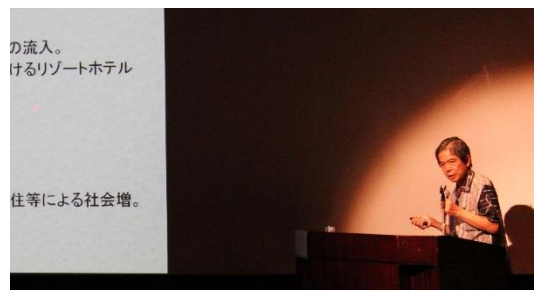
小平田 浩司



(講演① 久保 功 氏)



(講演② 高濱 剛司 氏)



(講演③ 山城 博美 氏)

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

### 3 お知らせ

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

#### ◇ 秋田港海の祭典

海洋・海事思想の普及と秋田港振興・地域活性化のため毎年開催。海の日海事功労者表彰式、国土交通省、海上保安庁等ブース、体験航海、ステージライブ、花火大会等を実施。

開催期間 ; 7月25日(土)14時-21時

; 7月26日(日)10時-15時

開催場所 ; 道の駅あきた港・みなとオアシスあきた

主催者名 ; 秋田港海の祭典実行委員会

お問い合わせ ; 秋田商工会議所 土崎支所 018-845-5983

#### ◇ のしろみなと祭り2015

能代港の多様な利活用を通じた地域活性化のため毎年開催。

国土交通省、海上保安庁、海上自衛隊等ブース、船の一般公開やステージライブなどを実施予定。

開催期間 ; 7月12日(日)10時-16時

開催場所 ; 能代港中島5千トン岸壁

主催者名 ; みなと祭り実行委員会

お問い合わせ ; みなと祭り実行委員会事務局(能代商工会議所内)0185-52-6341

Web ページ ; 能代商工会議所青年部 HP <http://www.noshiro-yeg.jp/>

#### ◇ 堺2区自然観察会(大阪湾生き物一斉調査)

都心にほど近い大和川河口に生き物を呼び戻すために実験中の生物共生型護岸において生体調査を行う。

開催期間 ; 平成27年5月31日(日)10時~14時

開催場所 ; 堺泉北港生物共生型護岸(友海(ゆかい)ビーチ)

主催者名 ; (公社)大阪自然環境保全協会内「堺2区自然観察会」

お問い合わせ ; (公社)大阪自然環境保全協会内「堺2区自然観察会」係 06-6242-8720

Web ページ ; <http://www.geocities.jp/npopr/oshirase.html>

#### ◇ 神戸みなとの知育楽座第1回講演会

「神戸のみなと・まち・歴史をもっと知ろう」をテーマに開催する講演会

開催期間 ; 平成27年6月13日(土)14:00~15:50

開催場所 ; 神戸海洋博物館

主催者名 ; NPO 法人近畿みなとの達人

お問い合わせ ; NPO 法人近畿みなとの達人 078-891-4561

Web ページ ; <http://www.geocities.jp/npopr/oshirase.html>



